

令和5年度倉敷市よい子いっぱい基金運営委員会会議録（要旨）

- 1 会議名 倉敷市よい子いっぱい基金運営委員会会議
 - 2 開催日時 令和5年6月6日（火） 10時～11時
 - 3 開催場所 倉敷市役所 9階 教育委員室
 - 4 出席者 委員：11人
中島副会長、仁科副会長、若林委員、渡邊委員、星島委員、浅原委員、
内田委員、武則委員、大磐委員、渡辺委員、木戸委員
事務局：5人
森生涯学習部長、丸野生涯学習部次長、長野副参事、藤原主幹、
井戸本主事
 - 5 議案 第1号 令和4年度事業報告及び会計報告について
第2号 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について
 - 6 傍聴者 なし
 - 7 審議内容 第1号 令和4年度事業報告及び会計報告について
○原案のとおり承認
第2号 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について
○原案のとおり承認
 - 8 会議録（要旨） 次のとおり
 - (1) 開会（10：00）
 - (2) 挨拶 仁科副会長
 - (3) 委員紹介 順次、委員自己紹介
 - (4) 審議
会長欠席のため、会長指名により仁科副会長を議長に選出。
ア 第1号 令和4年度事業報告及び会計報告について
事務局より内容を説明（会議資料P1～13参照）。
監事の若林委員より、監査結果報告。
- 【主な意見】
- 委員：中学生立志式記念行事助成事業について、中学校は2万7千円で支援学校は9千円とあるが、これはどういった金額の差があるのか。

事務局：立志式は古くから助成をしている事業であるが、最初に金額を決めるときに当時の児童数で実際の費用の割合を出して決めたのではないかと思われる。その時に支援学校は人数的な問題で9千円という形になったのではないかと思われる。

委員：立志式は中学2年生が対象のため、人数的には知れているのではないか。現在の児童数は中学校でも多いところもあれば少ないところもある。また、昨年から授業料も上がっている。

事務局：中学校によって児童数に差が出ているが、現在は一律2万7千円としていている。この助成事業が始まったのが昭和61年度からであり、今回で37回目である。実情に合わせて検討していきたい。

委員：来年は考えた方がよいのではないか。

議長：児童数を考慮して、あまり細かくするよりも100人単位、500人単位で決める等の方法が平等で良いと思う。今後の活動で検討するという事でお願ひする。

委員：倉敷市よい子いっぱい基金累計表の令和3年度の寄附金額が880万円となっているが、これは大口があったのか。

事務局：その通り。大口の御寄附があった。

イ 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局から内容を説明（会議資料P14～15参照）。

【主な意見】

委員：中学生弁論大会助成事業などほかの助成事業も、昨今値上がり等があるが予算増額の予定はあるか。

事務局：中学生弁論大会助成事業は、令和2年度からの新規事業であり、そのときに必要な金額を計算して割り出した助成額である。倉敷っ子なかよし作品展助成事業は、昨年度増額をしている。これは、実際の現場の声を踏まえ、昨年度運営委員会の書面審議で承認をいただき増額を行った。このように、実情に合わせた形で検討を行っている。

ウ その他

委員：令和5年度事業計画と事業予算が今まで通りの原案で承認されたが、事業の中に小学生の参加率が少ない。中学生は立志式やイングリッシュキャンプといった事業がある。また倉敷っ子なかよし作品展は小学生、中学生が対象の事業である。小学生に特化した事業といったような、小学生だけに何かやらせてあげられればという思いがある。倉敷市は良い文化があるため、文化面で小学生が参加する事業があれば、中学生になれば立志式があるよ、イングリッシュキャンプがあるよ、というふうに繋がっていくのではないかという思いがあるが、他の委員はいかがか。

議長：小学生を対象にした事業やそういったものに助成を考えたかどうかという意見が出た。いかがか。

委員：私も同じことを考えている。たとえばよい子いっぱい芸術鑑賞について、芸文館で176人となっているが、中心部の芸文館だけではなく、児島、真備、玉島等いろいろな場所で芸術鑑賞ができるようにしたらよいのではないか。そうすれば、より多くの子どもたちが参加できてよいと思う。他にも何か小学生ができるようなイベントがあればよいと思う。

事務局：よい子いっぱい芸術鑑賞は昨年度芸文館での開催だが、年毎にいろいろな会場で行っている。また参加人数が少ないのは新型コロナウイルスの影響があったため、今年度からはもう少し多い数になると思われる。

委員：私自身小学生の子どもがいるため、もし手伝えることがあれば手伝いたい。

(5) 閉会 (11:00)